



12月15日(火)

## 必要なのは説明ではなく啓示

聖書朗読 ヨブ 42:1~6

主のすばらしさを味わい、これを見つめよ。

詩篇 34:8

ヨブが味わった痛みと苦しみは、とても辛く理解に苦しむ体験でした。ヨブは神にどうしてこんな経験をしないといけないのか問いかけました。

痛みや苦しみを経験すると、私たち人間はその理由について神からの説明が欲しいと思いがちです。ヨブも同じように感じました。しかし、神はヨブに説明はしませんでした。その代わりに神ご自身を示されました。神は、ヨブにそうされたように、私たちにも同じようにされます。

『わたしが地の基を定めたとき、あなたはどこにいたのか』(ヨブ 38:4)。これは神がヨブに沢山質問されたうちの1つの質問です。これらの質問を通して、神はヨブに出会ってくださったのです。

ヨブの反応は『私はあなたのうわさを耳で聞いていました。しかし、今、この目であなたを見ました。』(ヨブ 42:5) でした。ヨブは自分自身の目で神を見たこと、つまり神と出会ったことにより変えられたのです。

ヨブが真の意味で神と出会うためには、神に目を向けることが必要でした。ヨブが必要だったのは、神との出会いであり苦難についての説明ではありませんでした。もし、神に「なぜこのようなことが私に起きるのですか？」と問いたくなるような出来事があった際には、説明を求めるのではなく、私たちと出会おうとされている神に目を向けましょう。

讃美歌 501

祈り 神よ。あなたに目を向けられるよう助けて下さい。いつかあなたにお会いする時、御心の全てを理解出来ますように。

御子イエス・キリストの御名を通してお祈り致します。アーメン。

チャック・ブライアント

テキサス州 ラボック

12月16日(水)

## 御言葉に集中する

聖書朗読 詩篇 第1編

主の戒めは正しくて、人の心を喜ばせ、主の仰せはきよくて、人の目を明るくする。

詩篇 19:8

私が大学を卒業した時、妻と共にカナダの教会で働くために引っ越しました。カナダには半年も居れば十分だと思い、その後はどこか他の国へ行こうと思っていました。当時私は、聖書専攻でクリスチャン・カレッジを卒業したばかりだったのです。カナダへ引っ越してから数週間もしないうちに、教会員ではないお年寄りにお会いしました。話をした後、彼は私に「あなたは聖書を読んだことがないのかい？」と言いました。そして聖書通読のプランまでも教えてくれました。彼は私こそ御言葉が必要だと思ったのです。

この出来事により、きちんと聖書通読をしようと思決意したのです。1962年以来、私は聖書を毎年通読しています。毎年、今まで気にならなかった疑問点に気がつきます。御言葉に対する探究心は尽きることがありません。深く読めば読もうとするほど発見があります。これが御言葉を読む時の喜びです。つまらないことではなく、やりがいのあることです。そのことにより、より一層御心に近づけるでしょう。『あなたに罪を犯さないため、私は、あなたのことばを心にたくわえました。』(詩篇 119:11) と聖書にも書かれています。御言葉を知ることにより、いつの日か神の前に立つ時の準備をしていることになるのです。今日も御言葉と共に過ごしましょう。

讃美歌 187

祈り 神よ。御言葉を与えて下さりありがとうございます。御言葉は私たちの足元を照らすランプのようで、正しい道へと導いて下さいます。毎日、御言葉と共に過ごせるよう助けて下さい。

御子イエス・キリストの御名を通してお祈り致します。アーメン。

デール・フォスター

テキサス州 サイプレス

12月17日(木)

## 恵みの味

聖書朗読 詩篇 5編

しかし、私は、豊かな恵みによって、あなたの家に行き、あなたを恐れつつ、あなたの聖なる宮に向かってひれ伏します。  
詩篇 5:7

あなたも誰かのお宅に招かれ、温かく迎えて頂いた経験があると思います。おもてなしは食べ物、準備、快適な場所の提供などにより感じる事が出来ます。また、近所を案内してもらうことなどにより、より一層感謝の気持ちを持つのではないのでしょうか。

詩篇5編では、邪悪な敵に遭遇した際、神に守っていただき、導いていただくことについて触れられています(詩篇5:1, 8, 11~12)。『主は血を流す者と欺く者とを忌みきらわれます。』(詩篇5:6)と明記してあります。しかしながら、神を助け主として求める人々は、神の素晴らしい愛のお陰で、神のもとへ来ることが出来ます。

これは、招かれたゲストとして歓迎されること以上のことではないのでしょうか。愛する神の子として扱って頂けるのです。そして神は人を温かく迎えてくださる方以上の存在です。万能の神なのです。これらはすべて真実なので、私たちは感謝の意と共に神を尊敬します。

神の素晴らしい愛により、私たちを罪から清めて下さり、聖霊によって満たし、永遠の御計画を立てて下さったのです。神はその様なお方なので、心から御名を讃美しましょう。

讚美歌 512

祈り 神よ。御名を讃美します。私たちの行動を通し、あなたの存在に他の人々が気づけるよう助けて下さい。

御子イエス・キリストの御名を通してお祈り致します。アーメン。

ブルース・グリーン

アラバマ州 オペリカ

12月18日(金)

## 存在価値

聖書朗読 詩篇 8編

あなたは、人を、神よりいくらか劣るものとし、これに栄光と誉れの冠をかぶらせました。  
詩篇 8:5

ある時、同僚の教師が私に言いました。私が担当している生徒二人が言い争いをしている、生徒たちは「どちらが私にとってのお気に入りの生徒なのか」を巡って争っているというのです。「僕がクレイトン先生のお気に入りだよ!」「違う、君じゃない!僕だ!」「違うに決まっている!なんで分からないのだ」と白熱したものだようでした。この一件の話を聞いて、良かったと思いました。なぜなら、私はそれぞれの生徒が私にとってお気に入りだと思われるよう接していたからです。ひいきと言う意味ではなく、私にとってそれぞれの生徒が特別で大切なのです。

神にはお気に入りの人はいません。しかし、私たち一人ひとは神にとって特別なので、私たちのために一人子であるイエスを犠牲にして下さったのです。イエスはあなたや私のために十字架にお掛かりになるためにこの世に来られたのです。神の愛は全ての人に開かれています。その神の愛を受け入れ、神に従い生きて行きましょう。

私の眼には私が教えた生徒はみんな私のお気に入りになります。しかしイエスの眼には、この世の一人ひとりが、彼らのために自分が死んでも良いと言えるほど価値があるのです。これで、あなたの存在価値が理解出来たのではないのでしょうか? イエスの十字架での死により、あなたは正しさを身につけ、栄光の王冠をいただくことが出来たのです。

今日を笑顔と共に過ごしましょう。あなたは神の子どもなのです。それは喜ぶべきことではないのでしょうか。

讚美歌 461

祈り 神よ。あなたが与えて下さる全てのことに感謝します。あなたの素晴らしい愛と慈悲に感謝します。

御子イエス・キリストの御名を通してお祈り致します。アーメン。

ジョアン・クレイトン

ニューメキシコ州 ポルタレス

12月19日(土)

## 神は気にかけて下さる

聖書朗読 詩篇 37:23~31

あなたがたの会った試練はみな人の知らないものではありません。神は真実な方ですから、あなたがたを、耐えられないほどの試練に合わせることはありません。

I コリント 10:13

聖書を通して私たちは神が誠実で慈悲心のある方だと知ることが出来ます。神の人々が迷った時には、共に居て下さいます。苦しんだ際にも共に居て下さいます。また、弱くなっている時には、強さを与えて下さいます。神が人々を見捨てられることはありません。

詩篇 37 篇を読むと、神の存在、約束について明記してあります。『その人は倒れてもまっさかさまに倒されはしない。主がその手をささえておられるからだ。』(24 節)。つまりくこともあるかもしれません。しかしそんな時にも『まことに、主は公義を愛し、ご自身の聖徒を見捨てられない』(28 節) のです。そして彼らは「永遠に保たれる」のです。

カタリーナ・シュレーゲル作詞の讃美歌で、これらの聖句の内容が上うまく表現されています。歌わずに歌詞を読むだけでも、心に安らぎを覚えるのではないのでしょうか。

やすかれ、わがこころよ、主イエスはともにいます。  
いたみも苦しみをも おおしく忍び耐えよ。  
主イエスのともにませば、たええぬ悩みはなし。

やすかれ、わがこころよ、なみかぜ猛るときも、  
父なるあまつかみの みむねに委ねまつれ。  
み手もてみちびきたもう のぞみの岸はちかし。

讃美歌 298

祈り 父なる神よ。私たちが気にかけて、守って下さりありがとうございます。御言葉を心に留め、過ごせるよう助けて下さい。

御子イエス・キリストの御名を通してお祈り致します。アーメン。

ハービー・フロイド  
テネシー州 ナシベル

12月20日(日)

## 忘れないで

讃美歌 詩篇 26 編

彼らが神に信頼し、神のみわぎを忘れず、その仰せを守るためである。

詩篇 78:7

2001年9月11日の朝、あなたはどこにいましたか？ エルヴィス・プレスリーが亡くなった時は？ ケネディ大統領の暗殺の時はどうでしょう？ 初めて人が月面を歩いたニュースを耳にした時、自分自身がどこに居たか覚えているのではないのでしょうか？ 歴史的な出来事が起こった時、自分がどこに居たか思い出すのは簡単なことではないのでしょうか？

聖書に書かれている歴史的な出来事についても同じように思い出せたら素晴らしいと思いませんか？ ダビデがゴリヤテを打ち負かした、と聞いた時、自分がどこにいたか思い出せたらと思いませんか？ または、イエス様の誕生について聞いた時はどうでしょう？ それとも、イエス様が十字架に架けられて、三日後に復活されたことを聞いた時はどうでしょうか？

私たちは、人生の中での大きな出来事は、まるで昨日のように鮮明に覚えています。私たちが、聖書にある出来事を直接目撃してはいなくても、まるで目撃したかのように、神の御業を心に留めておくことが出来たなら、それは素晴らしいことではないでしょうか。ダビデが脅され、危険な状況に遭った時、彼は神の驚くべき御業を思い起こしていました。そのことにより、ダビデは精神的に強くなりました。希望ある将来を思い出させたのです。

あなたもそのような強さと希望が欲しいと思いませんか？ 聖書に書かれている物語の中の神の素晴らしく、驚くべき御業を思い出しましょう。そしてそれを忘れずに、日々過ごしましょう。

讃美歌 494

祈り 親愛なる神よ。いつも共に居て下さることに感謝します。あなたの御業をまだそれを知らない人達と分かち合えるよう助けて下さい。

御子イエス・キリストの御名を通してお祈り致します。アーメン。

チャド・エゼリー  
テネシー州 マイラン